

こども・子育て政策について、日本小児科医会からの要望

こどもまんなか
社会の実現を！

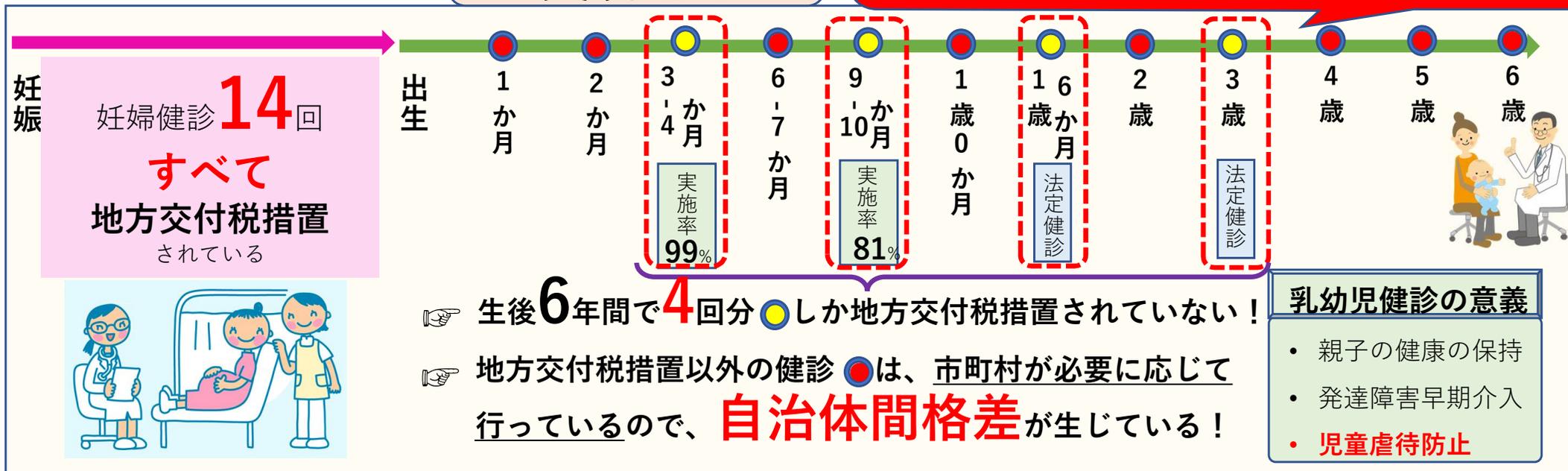
2023.6

(1) 乳幼児健診の機会の充実：

特に0~2歳の間
に8回
3歳から6歳まで
年1回

合計**12**回実施の
実現を！

4回だけの地方交付税措置！自治体間格差の是正を！
伴走型支援への組み込みを！



(2) 新規新生児マススクリーニング検査の全国一律実施の実現を！

※ 現在20疾病を対象としている新生児マススクリーニング検査の他に、重症複合免疫不全症や、治療薬が近年保険適応となった脊髄性筋萎縮症等、更に約7種類の「早期発見により治療可能な（早期発見されないと重篤になる）疾病」のスクリーニング検査が開発されたが、公費で検査を行っている自治体はわずかである。



(3) 新生児聴覚スクリーニング検査の全国一律実施の実現を！

※ 先天性難聴は、1000人に1人と発生頻度が高く、早期に医療介入・療育開始されることが望ましい。しかし公費負担による検査を実施している市区町村は全市区町村のうち52.6%(令和元年度)。

(4) 小児思春期保健の確立と学校保健との連携で不登校・いじめ・自殺予防を！